



新携帯プラットフォーム “PSP”発表

株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメント（SCEI）は、新開発の超小型光ディスクシステムを採用した新しい携帯型エンタテインメントシステム“PSP”を、2004年の年末商戦期に合わせ、全世界市場に向け発売いたします。これにより全世界で家庭用エンタテインメントプラットフォームの標準となった「プレイステーション」（PS）および「プレイステーション2」（PS2）に加えて、いつでもどこでもゲームをはじめとする幅広いエンタテインメントを手軽に楽しむことができる新しいプラットフォームが誕生します。

“PSP”は、ソフトの供給媒体としてソニーグループの新開発による直径60mm大容量光ディスク『UMD（ユニバーサル・メディア・ディスク）』（1.8GB）を採用。従来から携帯型ゲーム機に使われているマスクROMカートリッジに比べて、圧倒的な大容量を低コストで実現すると共に生産リードタイムの短縮を可能とすることにより、携帯型エンタテインメントプラットフォームにおいても家庭用ゲーム機器と同様のメディアの世代交代を実現します。また、コンテンツのセキュリティ確保のため、同ディスクに固有IDをもたせると共に、プラットフォームとしても最先端の著作権保護技術を導入いたします。

表示装置には、480×272ドットのワイド画面（16：9）のバックライト付き高精細TFT LCDモニターを採用。今後の幅広いエンタテインメントアプリケーションに対応いたします。更に、最先端の90ナノメートルDRAM混載プロセス技術を駆使した超高性能チップセットの導入により、従来のポリゴンに加え曲面生成を含む豊かな3次元映像表現を実現すると同時に、MPEG4を含む最先端の画像圧縮伸長技術に対応しDVDビデオ並みの高画質を実現しました。また、音声信号処理についてはファームウェアによりさまざまな音声圧縮伸長技術に対応するプロセッサを混載。臨場感豊かな3Dサウンドの再生にも対応しています。

外部接続端子にはUSB2.0を採用。これにより複数の“PSP”間の相互接続に加え、PS2をはじめとするさまざまな外部機器との接続が可能になります。また、メモリースティック・スロットを標準装備することにより、データの保存・交換に加え、将来のワイヤレスネットワークへの接続等にも対応いたします。

SCEIは、これら最先端技術を結集した新携帯プラットフォーム“PSP”を、いつでもどこでも幅広いコンピュータエンタテインメントを楽しむことができるプラットフォームと位置付け、より広範なエンタテインメントコンテンツおよびサービスとの融合を提案してまいります。

“PSP”向けソフトウェアの開発環境については、PCをベースとしたソフトウェア開発ツールの提供を今秋から開始し、ゲームソフトなどの新しいコンテンツの開発を積極的にサポートしてまいります。

「P S および P S 2 がもたらしたメディアおよびコンピュータエンタテインメントにおける革命を、いよいよ携帯プラットフォームの世界へと、コンセプトをさらに進化させ展開します。小型・大容量の光ディスク『UMD』をはじめとする最先端技術の採用により、ゲーム・映像・音楽を含む幅広いエンタテインメントの世界が初めてポータブル・エンタテインメント・プラットフォーム上に実現します。1979年に発売された“ウォークマン”が音楽の楽しさをあらゆる場所に解き放ったように、今度は“P S P”がゲーム・映像・音楽を含む多様なエンタテインメントの楽しさをあらゆる場所に解き放っていくものと期待しています。」(S C E I 代表取締役 社長兼 C E O : 久夛良木健)

“ P S P ” 概要

プラットフォーム名称	“ P S P ”
ディスプレイ	バックライト付きワイドスクリーン (1 6 : 9) T F T L C D (4 8 0 × 2 7 2 ドット)
対応ディスク	『 U M D 』再生専用 6 0 m m 光ディスク (1 . 8 G B) 著作権保護技術対応
映像符号化技術	M P E G 4
グラフィックス	3 D (ポリゴン / 曲面生成)
サウンド	P C M (ステレオスピーカー内蔵、ステレオヘッドホン出力)
入出力端子	U S B 2 . 0 ポート、メモリースティック・スロット
バッテリー	充電型リチウムイオン電池